

	9月	2021年度
組合員ふやし	80人	632人
出資金ふやし	428万円	6,231万円
純増	△224万円	△805万円

9/18強化月間直前 職員向け生協加入お勧め「達人講座」④開催 医療生協に加入されていると安心ですよ

達人講座最終回には、福島生協病院医事課2名、介護事業部7名のご参加がありました。14名もの参加のあった生協さえき病院に続き、介護事業部は4回を通じて総勢12名の参加で、生協けんこうプラザ内の中央ヘルパー・中央居宅・かんおん24・コスモス・介護事業部にとどまらず、この最終日には、五日市訪看・草津かもめ・くさつ24からも駆けつけていただき、主催者側の感激もひとしおでした。

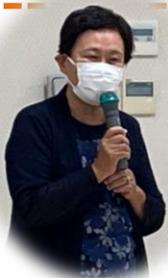
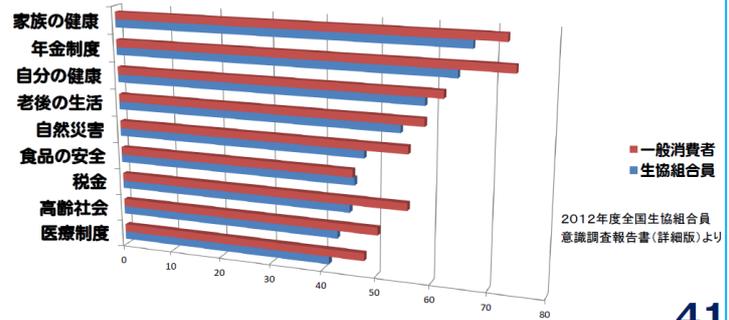


右の棒グラフ、赤が一般の方・青が生協組合員。生協では班の集まりで、不安なことを出し合ったり、医療や介護の専門家に相談もできて不安感が解消されていると、講座でも紹介されました。

「今後の生活を考える上で心配なこと」調査にて⇒
生協組合員は「不安感」が一定、解消されている。

【問4】今後の生活を考える上で心配なこと(複数回答)

(%)	家族の健康	年金制度	自分の健康	老後の生活	自然災害	食品の安全	税金	高齢社会	医療制度
一般消費者	72.0	73.6	61.6	58.4	55.6	45.6	55.6	50.3	47.8
生協組合員	66.3	63.9	58.4	54.2	47.7	46	45.1	42.8	41.2



(田中さき子理事は職員としての経験から話を始められました)福島生協病院には産婦人科もあって、小児科の乳児検診もにぎわっていました。核家族化が進み、お母さん達が孤立化して不安を抱えている時、小児科の乳児検診に保育士が育児相談に入り始め、たくさんの子育て班ができました。(←これぞまさに事業所と地域の連携実践！)

退職後は己斐上支部に所属して組合員活動を始め、定年後の一つの居場所となっています。組合員でもある古くからの知人が高齢となり、認知症の症状が出たりした時、支えたいと思うけれども、支える側にもいろいろな事情があります。1対1の関係で無理をすると共倒れになると思うんです。そんな時、班や支部のつながりを通じて、みんなで支え合う、これができているのが生協です。自宅で暮らし続けるのが難しい段階になったら、生協の医療・介護の専門家に相談すればいい。私たち地域で活動する組合員はその橋渡し役ともいえます。

そして、組合員さんは私たちの病院・診療所だと、とても強い愛情をもっておられます。病院建設の時に、この柱は自分の出資金で建ったのだと、誇りをもって言われた方もありました。苦情をいわれる患者さんもおられると思いますが、組合員の熱い気持ちの表れと受け止めてもらえたらなと思います。

(田中さき子理事のお話より)

生協加入お勧め達人講座は、事業所のご都合に合わせた出張講座も可能です。地域包括ケア部までご相談ください。組合員加入の昨年実績2割増達成めざして、生協強化月間がんばりましょう！！